

# 横浜市 金沢動物園 インドサイの「キンタロウ」が死亡しました

金沢動物園で飼育していたインドサイの「キンタロウ」が死亡しましたので、お知らせします。



## 1 死亡したインドサイについて

- (1) 名 前 キンタロウ
- (2) 性 別 オス
- (3) 年 齢 38 才 (昭和 58 年 7 月 12 日生まれ)
- (4) 死亡日 令和 4 年 6 月 17 日 (金) 8 時 30 分に死亡確認
- (5) 死 因 調査中

## 2 プロフィールと経過

キンタロウは、昭和 60 年 8 月にドイツの動物園から金沢動物園へ来園しました。これまでに 3 頭 (平成 19 年、21 年、26 年) の繁殖に成功しており、現在もそのうちの 2 頭が国内の動物園で暮らしています。現在、国内で繁殖経験があるインドサイは少なく、絶滅危惧種の個体数維持に貢献した個体でした。

4 月下旬から食欲の低下が見られ、年齢を考慮して慎重に養生のための飼育を続けてきましたが、6 月 17 日 8 時 30 分に死亡を確認しました。

金沢動物園



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

横浜市SDGs認証制度



お問合せ先

金沢動物園 園長 小國 徹 TEL045-783-9400

## 【参考資料】

### 1 インドサイについて

和名	インドサイ
英名	Indian Rhinoceros
学名	<i>Rhinoceros unicornis</i>
分類	奇蹄目 サイ科
分布	インド北部とネパール南部
生態	川辺の草原に棲み、隣接した森林地帯も利用します。単独でなわばりを持って生活します。ひだのある鎧のような分厚い皮膚をもち、角が1本あります。上唇はとがっており、主食である木の葉や枝をつかむのに適した形状をしています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 絶滅の危機が増大している種
当園飼育個体	1頭 (メス) ※今回死亡した個体を除く
国内飼育状況	4園館9頭(オス6頭、メス3頭) ※令和4年3月31日現在、今回死亡した個体を含む

### 2 金沢動物園について

※金沢動物園は、令和4年3月17日に開園40周年を迎えました※

- ◆入園料：一般500円、高校生・中人300円、小・中学生200円、小学生未満無料  
(毎週土曜日高校生以下無料)  
※よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上2,000円
- ◆開園時間：9:30～16:30 (入園は16:00まで)
- ◆休園日：毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)
- ◆交通：京浜急行「金沢文庫」駅下車、西口バス乗場でバスに乗車  
①「野村住宅センター」行きバス「夏山坂上」下車徒歩6分  
②急行「金沢動物園」行きバスで10分 (土・日・祝のみ)
- ◆URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/kanazawa/>
- ◆住所：横浜市金沢区釜利谷東5-15-1
- ◆問合せ先：045-783-9100

※金沢動物園では、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

- ・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。
  - ・ご来園の際には、マスクの着用をお願いいたします。
- その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。